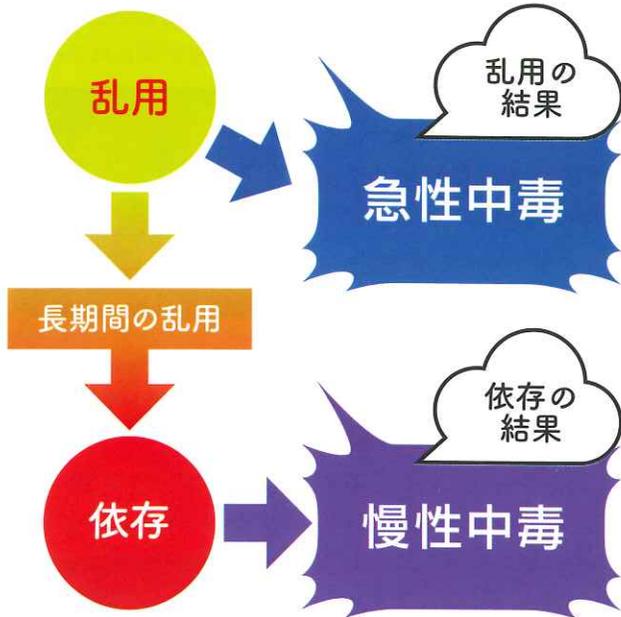
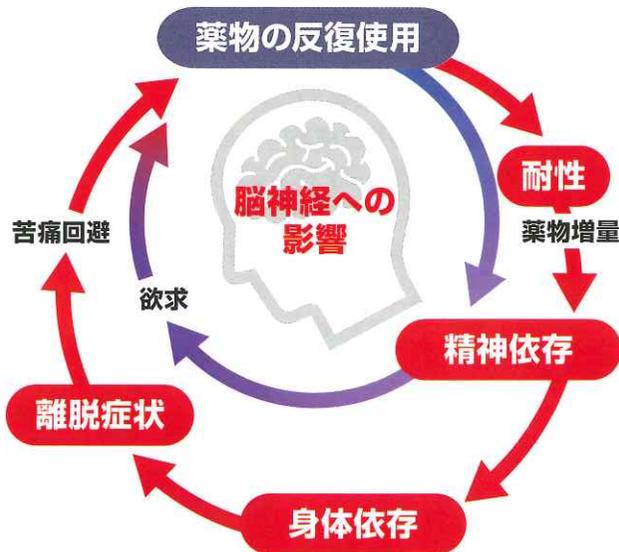


薬物乱用をすると…



薬物依存のプロセス

薬物乱用により満足感を得た人は、その経験を求めて再び薬物を欲するようになります。それが繰り返されていくと、やがて薬物なしではいられない「依存」の状態に陥ります。



国連支援募金って何？

開発途上国では、経済的にも社会的にもより不安定な国が多く、薬物乱用防止に関する対策が困難な状況です。その結果、若者たちは特に薬物に対する知識が乏しく、無防備なまま薬物乱用に陥り、自分の健康を損ねてしまい、輝かしい未来への扉が閉ざされてしまう者も少なくありません。

公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターでは、1993年から「国連支援募金」活動を日本国内で呼びかけ、UNODC (国連薬物・犯罪事務所) を通じてこれらの国や地域を支援してきました。2022年までの10年間で55の開発途上国で139のプロジェクトを支援し、約400万人がその恩恵を受けています。

詳しくはホームページをご覧ください。

あなたの支援をお待ちしています。



薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

麻薬・覚醒剤・大麻・危険ドラッグ等
薬物の乱用をなくそう



愛する自分を大切に

ダメ。ゼッタイ。

検索



<http://dapc.or.jp>

東京都港区赤坂2-4-1白亜ビル9F TEL 03(5544)8436

Drug Abuse Prevention Center
dapc

公益財団法人
麻薬・覚せい剤乱用防止センター

薬物乱用とは？

薬物乱用とは、法律によって使うことが禁じられている薬物を使用したり、医療用の薬物を本来の目的から外れて使用したり、用法や用量を守らずに使用することをいいます。たとえ1回の使用でも乱用にあたります。



身近な医薬品

市販薬

ドラッグストアで気軽に購入できる市販薬であっても乱用すれば依存症などのリスクがあります。市販の咳止めなどに含まれる成分を大量に摂取すると眠気や疲労感がなくなり、頭が冴えた感覚になりますが、薬が切れると倦怠感や意欲減退などが出てきます。また、鎮痛薬に含まれる成分を大量に摂取することで、意識障害や呼吸抑制を引き起こす場合もあります。

さらに咳止めにほかの薬物やアルコールと一緒に服用することで、中枢神経や心臓に障害がでる場合もあります。



処方薬

医師の処方箋に基づいて処方される鎮静薬や精神安定剤、睡眠導入剤などの処方薬は、中枢神経に作用し脳の興奮を抑え不安症状や睡眠障害に効果がありますが、これを適正に使用せず医療目的から外れて使用すると、感情が不安定になったり運動及び記憶障害などが生じます。また、一度に大量に摂取すると意識を失うことがあるほか、長期間使い続けると依存症にもなります。

覚醒剤

化学的に合成された白色結晶状の薬物で、乱用すると強い興奮状態を起こし、一時的に疲労や眠気がなくなりますが、効果が切れると脱力感や倦怠感に襲われるため、乱用を繰り返すようになります。依存性が強く、乱用を続けると幻覚や妄想が現れ、時には錯乱状態になって他人に危害を加える場合もあります。

「シャブ」「エス」「スピード」「アイス」「氷」などと呼ばれ流通しています。



大麻

大麻は、大麻草のうち花穂や葉を乾燥させたものが乾燥大麻、樹液を圧縮したものが大麻樹脂、それらを溶剤に溶かして大麻成分を抽出したものが液体大麻(大麻リキッド、大麻ワックス)です。また、最近では大麻成分を菓子などの食品に含ませたものもあります。

大麻を乱用するとリラックスしたような感覚になり、色が鮮やかに見えたり音が鮮明に聞こえたりと知覚が変化し、時間感覚の歪みや記憶障害、動作障害などを引き起こします。時には衝動や感情が抑えられずに錯乱やパニック発作などを引き起こすこともあります。また、長期に乱用を続けると依存症はもとより、統合失調症やうつ病の発症リスクが高まり、認知機能障害など個人差はあるものの何らかの精神障害を引き起こします。さらに脳の成長期にある若者の場合は、思考能力、記憶力など学習機能を低下させる場合があります。

「ハッパ」「クサ」「チョコ」「野菜」などと呼ばれ流通しています。



MDMA

覚醒剤と幻覚剤の作用を併せ持ち、錠剤や粉末などの形状をした薬物で、乱用すると高揚感、多幸感が得られる一方で感覚や時間に対する認識を歪めます。依存性が強く、乱用を続けると錯乱状態に陥ることもあります。

「エクスタシー」「バツ」などと呼ばれ流通しています。



コカイン

ココアの葉から作られた白色の粉末、結晶固形物の薬物で、乱用すると強い興奮作用がありますが、効果が長続きしないため短期間で頻繁に乱用を繰り返すようになります。依存性が強く、乱用を続けると幻覚や妄想などが起こります。

「コーク」「スノー」「クラック」などと呼ばれて流通しています。



危険ドラッグ

危険ドラッグは、法律で規制されないように、麻薬や覚醒剤、大麻などの規制薬物の化学構造に似せられて作られています。規制薬物と同等の作用を有する成分が含まれているものが多く、大変危険です。中身がどのような影響をおよぼすのかわからない成分がほとんどで、仮に呼吸困難や異常行動で救急搬送されても、医師がどのような薬物が把握できず、適切な処置が受けられずに容体が悪化する場合もあります。

形状は粉末、錠剤、液体などのほか、乾燥植物に薬物を吹き付けたものなどがあります。

